



公益財団法人 大社教育文化振興財団

ワークショップ プログラム

香川の文化に触れる、考える

年2～3回 開催（予定）

ワークショップの目的

- ① 香川県の高校生を対象に、香川の文化や芸術に触れられる内容を行う。
- ② このワークショップは、学校の授業に関連づくような内容で構成されるようにする。
- ③ このワークショップでは香川の文化や故郷に対して誇りを持ち、積極的な意見交換を交えながら、国際社会への一員としての意識を養う。

ワークショップの内容

講座名	内 容
対 話	「文化ってなんだろう？」
茶 道	「おもてなしってなんだろう？」
和 歌	「和歌ってなんだろう？」
アート鑑賞	「芸術ってなんだろう？」
宗 教	「信仰ってなんだろう？」
古典芸能	「伝統芸能ってなんだろう？」
まとめ（振り返り）	「文化ってなんだろう？」

文化とは、人類が作り上げてきた歴史そのものです。

第1回目のワークショップは、

「文化とは何だろうか？」というテーマで、

対話形式を用いて、それぞれの参加者のイメージする「文化」に

対する意見交換を行い、考えを深めていく場づくりを行います。

「おもてなしってなんだろう？」

2020年東京オリンピック招致でも話題になったように、日本のホスピタリティは、海外で「OMOTENASHI（おもてなし）」という表現で高い評価を受けています。

この「おもてなし」は、実は茶道の精神から生まれたと言っても過言ではありません。

第2回目のワークショップでは、茶会を体験してもらい、日本のおもてなしについて学びます。

「和歌ってなんだろう」

和歌は、大和歌と言われ、日本の美しさを限られた文字数の中で表現してきました。

また和歌の発展と共に、ただ情報を記すためだけだった「文字」は「書」という日本独自の文化となり、さらの芸術性を生み出しました。

第3回目のワークショップでは、和歌の歴史を習い、また和歌に使われた文字の変化、使われた文字によって和歌はどのような印象を持つのかなど、様々な角度から和歌の魅力を探っていきます。

「アートってなんだろう」

芸術は人の様々な解釈によって、生かされ発展していくものです。解釈に必要なものは、知識ではありません。鑑賞力（見る力）です。ただ漠然と見るだけではなく、鑑賞することによって、人々の様々な解釈と発想を生み出すことが出来ます。

第4回目のワークショップでは、講師を交えて瀬戸内国際芸術祭に出展されたこれまでの作品や日本美術品などを鑑賞することで、学生の発想を刺激し、様々な解釈を用いて活気ある作品鑑賞会を行いたいと思います。

「信仰ってなんだろう」

日本は、無宗教ともいわれますが、実際は神教、仏教を始め国内には、色々な宗教が存在しています。日本人はどの宗教に対しても、その宗教の持つ「信仰心」自体を大切にし尊重してきました。

「奈良の大仏」で知られる東大寺は、実は真言宗開祖の空海を始め、仏教の開祖が学び、受戒を受けたお寺でもあります。

第5回目のワークショップでは、その東大寺の住職を招き、信仰とはなにか、宗教とはなにかについて話を伺います。

「伝統芸能ってなんだろう」

これまで、さまざま日本文化のワークショップを行ってきたまとめとして、伝統芸能を取り上げます。

神楽、能、狂言、歌舞伎など、日本・郷土香川の代表的な伝統芸能は、歴史の変移の中で、文化と共に培われ、大きな影響を受けていました。長い歴史の中で生き残ってきた古典芸能の魅力を体験して頂き、伝統芸能とは何か感じ、考えてもらいたいと思います。

振り返り

「もう一度、文化ってなんだろう」

これまでのワークショップを振り返り、改めて文化と何だろうというテーマについてもう一度対話を行います。

自分たちが感じた経験や考えを通して、文化はどのような影響を持つのか、自分にとって文化は何かを、対話を深めていくことが狙いです。